

KLMオランダ航空無期
転換逃れの雇止め撤回
裁判の公正な判決を求める
署名にご協力ください！(4面)

フェニックス

PHOENIX

＜発行者＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
<http://www.kohkuren.org/>

賃金引上げ・人員不足解消・勤務改善



21年度に日中路線の大増便が計画されている成田空港

安全で働きやすい職場に変えよう

年休も休憩も取れる労働環境を

賃金引上げを始めとした労働条件向上をめざす20春闘が始まります。航空労組は3月中旬には要求を決め、その後労使交渉が本格化していきます。今春闘は首都圏空港発着枠拡大に伴う大増便や東京オリンピック・パラリンピックという大きな環境変化を迎えることから、航空経営は年頭あいさつで「政府目標であるインバウンドの2020年4000万人達成に貢献するため」などと意を込めることができたか、正念場を迎える（片野坂ANAホールディングス社長）と事業拡大を強調します。その一方で、航空のあらゆる職場では人員不足が深刻化しており、さらなる稼働強化がもたらす人的リスク拡大が懸念されます。

1月20日から通常国会が始まりました。2020年度予算案が審議されますが、公文書管理法違反が明らかになった「桜を見る会」の招待者（河井前法相・菅原前経産相）大学入試共通テ

問題、カジノを各都道府県に1カ所ずつ（1カ所）事業をめぐって汚職事件、公選法違反をめぐる疑惑で相次ぎ辞任した閣僚問題（河井前法相・菅原前経産相）大学入試共通テ

ストをめぐる試験問題など解決すべき課題が山積しています。安倍政権7年間の経済政策により大企業は好業績を上げ続け内部留保は450兆円に膨らんでいますが、貧困と格差問題は一向に改善される傾向にはありません。ワーキングプアと言われる年収200万円以下は13年連続で1千万人を超え、子供の貧困率は13・9%。7人に1人が貧困ラインを下回っています（2017年6月厚労省「国民生活基礎調査」）。消費税10%への引上げは家計負担を増やし消費を冷え込ませ、景気悪化を懸念させます。国民の懐を温める政策への転換が求められます。賃上げと安定した雇用、長時間労働の是正など、8時間働けば普通に暮らせる社会にする

ことは、人間らしい生活をとの願いに込められています。

連合は、20春闘要求で「月例賃金にこだわり、賃金の引き上げを目指す」とし「底上げ」と「格差是正」・「定昇含め4%アップ」・時給1000円以上を求めています。金労連は月額2万5千円以上、時給1500円引上げ、時間外労働の上限

2020春闘

規制、勤務インターバル規制などを求めています。積み上げられている

しっかりと要求し 働き方見直しを

超えています。3月20日からの夏季スケジュールで、成田・羽田空港の増便が本格運用されます。羽田空港は1日50便増に。成田空港は米系航空会社の羽田移転

など一時的な減便が予想されますが、日中路線は21年の夏季スケジュールに向け、段階的な増便（日中それぞれ週4・10便）が計画されています。

港の国際線増便対策として、新入社員とクルーパ会社からの出向応援などを240名規模の増員を計画していますが、オリンピックに伴う増便もあることから、人員や器材など万全な準備を求める声が強まっています。

こうした大増便を支えるためには多くの人材確保が必要です。しかし現状はどの職場も、人員不足による高稼働・労働強化が強まっています。パイロットの業務中断者は増加傾向にあります。日航グループによる1000名を超える中断者があり、労働改善を求める切実な声も寄せられています。客室乗務員（CA）の職場では、不規則な勤務勤務に見合わない賃金・休

みが取れない・休憩もとれない「ナイナイづくし」が指摘される一方で、不慣れた新人CA増加がリスク要因になっていると指摘されています。JGSでは羽田空

港の国際線増便対策として、新入社員とクルーパ会社からの出向応援などを240名規模の増員を計画していますが、オリンピックに伴う増便もあることから、人員や器材など万全な準備を求める声が強まっています。

こうした大増便を支えるためには多くの人材確保が必要です。しかし現状はどの職場も、人員不足による高稼働・労働強化が強まっています。パイロットの業務中断者は増加傾向にあります。日航グループによる1000名を超える中断者があり、労働改善を求める切実な声も寄せられています。客室乗務員（CA）の職場では、不規則な勤務勤務に見合わない賃金・休

みが取れない・休憩もとれない「ナイナイづくし」が指摘される一方で、不慣れた新人CA増加がリスク要因になっていると指摘されています。JGSでは羽田空

港の国際線増便対策として、新入社員とクルーパ会社からの出向応援などを240名規模の増員を計画していますが、オリンピックに伴う増便もあることから、人員や器材など万全な準備を求める声が強まっています。

こうした大増便を支えるためには多くの人材確保が必要です。しかし現状はどの職場も、人員不足による高稼働・労働強化が強まっています。パイロットの業務中断者は増加傾向にあります。日航グループによる1000名を超える中断者があり、労働改善を求める切実な声も寄せられています。客室乗務員（CA）の職場では、不規則な勤務勤務に見合わない賃金・休

みが取れない・休憩もとれない「ナイナイづくし」が指摘される一方で、不慣れた新人CA増加がリスク要因になっていると指摘されています。JGSでは羽田空

港の国際線増便対策として、新入社員とクルーパ会社からの出向応援などを240名規模の増員を計画していますが、オリンピックに伴う増便もあることから、人員や器材など万全な準備を求める声が強まっています。

■主な記事から■

- ▶客室乗務員への疲労リスク管理（FRM）導入を前に客室乗務員が航空局に要請 **2面**
- ▶沖縄県議会特別委員会で、航空連の薬国路線再開提言の勉強会が開催される **2面**
- ▶JAL解雇争議—JAL破綻10年にあたって記者会見。争議解決に向け質問相次ぐ **3面**
- ▶ストライキでたたかうジェットスター労働者。ITFや加盟組合が連帯を表明 **3面**
- ▶2019「航空安全の確保」アンケートに553通の回答。分析結果は航空局要請に反映 **4面**

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

誘導路

体を使うのは「肉体的労働」、頭を使うのは「精神的労働」、感情を抑制・管理しながら働くことは「感情的労働」と言われています。感情労働の代表的な職業として看護師や介護士、客室乗務員があげられます

●週日、人生で2度目となる手術入院をしまし。17歳の時に盲腸で入院して以来です。40数年ぶり。術後は24時間の安静が求められました。同室には手術を終えた患者さんがおり、担当看護師の太さきに頭が下がります。術後の患者が3名もいれば病室からのナースコールが相次ぎます。その都度適切な処置が行われ、確かな経験に裏打ちされた対応に安心・感奮されたのは、対人からの様々な言葉を受け止め、ときに喜びを共有し、ときに慰めをくれること。ある客室乗務員は「感情労働では常に模範的で適切な言葉や表情、態度で接客することを求められます。●客室乗務員は保安要員であると同時に、旅客と常に接していることから仕事の大部分が感情にかかっています。個々人がもっている感情が評価され賃金に反映されますが、受け手の感情次第で評価が左右されることは容易に想像できます。●4月から客室乗務員を対象に疲労リスク管理が導入されます。感情労働の軽減、より良い職場環境につなげてほしい。

争議団・支援共闘会議が記者会見

争議の現状を説明 記者から質問相次ぐ

J A L解雇爭議

今年で10年目を迎えたJAL解雇争議。原告団は、有力の旗幟に連日足を運び、争議解決を迫る運動を大きく展開していくための訴えと支援を要請しています。

AJ争議団と国民交援会を率い、表がそれぞれ市町村を回り、国会交遊や労働省、記者会見を行いました。会見は争議団から山口乗員団長と内田客乗団長、弁護団から二条弁護団長、国民交遊会から出陣から津恵事務局局長が出席し「解雇の不当性争議」

1月19日、J-AL経営破綻後10年たったところ、マヌミ各社は「J-AL破綻から10年を特集しています。争議団への取材も相次ぎ

の現状」を説明しました。山口団長は「憲法違反をした会社が原状回復をするのは当たり前。今」の職場の閉塞感と解雇問題

は密接に関係している

オリパラ委員会
での質疑も予定



東京オリパラ組織委員会前での宣伝行動。東京晴海

る。オリパラ公式スポンサーとしての資格があるのか問うた。内田国長は「２０１２年５月の東京地裁判決（監解解雇理由を知らした判決）を知った後に客室乗務員の募集が開始された。これまで約６８０名が採用された。会社事由による解雇な優秀な雇用されるべき」「解決したのであるけれども、雇用の確保を経営者を含め、交渉の中外に回答を示すことがない。希望退職以外の退職者数や在籍者数を会社は一切言及しなかったことも前例がない」。

「希望者の職場復帰を念のため当面解決の責を負ったことは、求められていない」と強調した。

記者からは「会社は何をもとで解決していただいているのか。不当労働行為判決で解雇の合理性がないことをわかって解けていないと思っているのか」「解決の道筋はどのように考えているのか」「二十、三十人たちが解雇された後の会社との関係があり、関心の高さを示しました。」

JALは2010年東京オリパラの公式スポンサーです。国際基準の遵守、差別や人権侵害のない社会をを目指すILO（国際労働機関）とオリパラ組織委員会との「パートナーシップ協定」に照らし、JALが公式スポンサーに相応しい企業なのかが問われています。争議団はオリパラ組織委員会に、解雇議決日には、組織委員会から要請についての内部で共有しており、要請があったことはJALに伝えられているとの回答がありました。1月23日には、争議団と国民支援団はオリパラ組織委員会への要請並びに宣伝動を行いました。宣伝動に参加した支援者は「組織委員会にはJALが公式スポンサーとして解雇議決を拒んだままでいいのだから、要請に担当せんでしたが、あらたな日程調整するために、この建策が争議団にあります」との建策が争議団にあります。

年明けから争議は各国使館要請や国議員オリパラ委員会でもJALと争議を取り上げられる予定です。解雇から10年を迎え、争議団は議解決に向け全力を挙げ取り組めます。

ストライキで闘うジェットスター労働者

ITF、労働者に連帯を表明

今号では、低水準の労働条件を押しつけられているオーストラリアのシィー・ジェットスター労働者の闘いを紹介します。

リアのLCCジェット
スターの組合員が94%の
高率でストライキへの賛
成票を投じ、ストライキ
を実施しました。

12月20日、オーストラ
リア運輸労組(TWU)
とオーストラリア航空パ
イロット連盟(AFA
P)に所属するオースト

ドルもの収益を上げてい
るのに、労働者はパート
タイマーや不安定な仕事
に追いやられ、その結果
週給429ドルと言う低

厳しい経済状況下でこの年に、グループ企業受入援けしてきた経緯があります。しかし、会社の収益正常戻った今も、労働者の賃金を公正に引き上げることが会社は拒否しているのを。

これまでも何回か交際が重ねられてきましたが、会社が、組合との労働時の保障、賃上げ、そして勤務から次の勤務間の小限り時間の休憩間の保障等の基本的な要求のほとんどすべてに回答を

拒出してきました。さらにジェットターの組合員は、安全問題にたいしては、も及しており、人員不足、不具合な機械、そして訓練を積んだよ、訓練された従業員が確保されてはいることから、労働者自身で利用者を危険にさらしているとも主張しています。

団体交渉が膠着状態になり、組合はストライキに勝てるほかに選択の余地はなくなったことから、ストライキの実施に断念したものです。

こうしたことから、ITTFとFCTF加盟組合は、ジェットターの労働者に連帯を表明しています。(ITTFプロタより)



ジェットスター航空の組合員。ITFホームページより

ITFニュース

経営状態が芳しくない
と経営者は員上げ凍結で、
従業員に協力を強制し、
業績が回復してもそれに
報いないという点と、安
全問題に関する主張も私
たちと同様の状況です。
理解と連携で、共にお互
いの労働条件の改善に結
びつけたいものです。

**国土交通行政を担う
組織・体制の拡充と
職員の確保を求める署名**

国土交通労組が取り組んでいます。

航空安全会議の加盟盟組の一つである国土交通労働組合では、「定員削減・総人件費抑制」を阻止し、国民の安全・安心を守る行政への転換と地域の産業の維持・発展のため、「国土交通行政を

担当組織・体制の拡充と職員数の確保を求める署名の取り組みをすすめています。

国土交通行政の実施体制は、政府方針の定員削減方針のもとで業務に見合った定員が認められず、職場は疲弊の一途です。航空管制官やセキユリティ・無入航空機関連の定員を無視、訪日外国人旅行者数600万人達成や航空の安全に大きく関わる分野ですら連

年の定員削減の影響で減らしています。あわせて、気象庁の航空気象を担当する職員の定員削減へのやむを得ない対応として3空港の予報を1名で担当するなど厳しい運用で対応を行っている。このままでは、航空機の運航への影響もさることながら、「国民の安全・安心」が脅かされることにも繋がりがねません。

国土交通行政の体制拡

署名用紙のDLはこちらから



十分に繋げるため、国会請願署名名にご協力をお願いいたします。

締め切り…4月30日

署名用紙のDLはこちらから



20春闘学習決起集会

2月26日(水)18:00~19:30

フェニックスビル

お誘いあって
ご参加ください

新聞記者が語る春闘情勢

■プログラム

▶講演

テーマ「報道の職場からみた春闘」(仮題)

講師 新聞労連委員長・南 彰氏(朝日新聞記者)

※鳥久介当ご用意してます

主催：航空連

航空連・東京南部法律事務所共催
無料法律相談のご案内

日時 3月23日(月)13:00~15:00

場所 東京南部法律事務所
JR蒲田駅東口徒歩2分

対象者 航空労働者



〈相談手続き〉

前日までに電話もしくはe-mailにて
申し込みください。

▶申し込み先：航空労連連絡会

電話：03-3742-3251

e-mail: honbu@kohkuren.org

▶法律問題なら何でもご相談ください。
直接弁護士が伺います。

▶相談時間：1人30分

以上

KLMオランダ航空無期転換逃れ雇止め
撤回裁判の公正な判決を求める署名に
ご協力下さい！

団体署名、個人署名に取り組んでいます。

問合せ先：航空連事務局

03-3742-3251

URL: <http://kohkuren.org/index.html>

けんぼ

年末年始はキュウリやダイコン、ハクサイなどの野菜がやけに高かったのに1月20日のニュースでは暖冬で雪が降らない、好天で野菜が育ちすぎ、ダイコンなど大きくなりすぎて暴落しているといいます。そして、1月なのに春の花が咲いた、雲雀が鳴いた、スキー場では雪がなくて喜ばないという記事もありました。海外でも異常気象は続きます。

オーストラリアでは、信じられない規模の森林火災になっています。やけどのゴアラが救出され

る映像が無残です。異常気象や自然災害の恐ろしさだけではなく、中国では、武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎が世界的に不気味な広がりを示しています。トランプ大統領の自分第一の戦略に見られる世情不安も心配です。

アメリカとイランの軍事衝突の結果、イランでウクライナ航空機が墜って撃墜されて176名全員が死んだという痛ましい事件が起きました。香港では政府への反対デモがおおまきを見せず、観光客はまもなくという状態になっています。戦争や紛争のない、民間航空機が安心して飛べる世界の空を願う。

安全アンケートに553通の回答



出発前に航空機を点検するパイロット

航空局要請書に反映

昨年11月18日から12月15日まで、航空安全会議と日乗連(ALLPAJAPAN)が協働で実施した「2019『航空安全の確保』に関するアンケート」には553通の回答がありました。意見などは今後詳しく分析し、取りまとめを行ったうえで要請書として作成し、航空局をはじめとした関係各機関へ要請を行う予定です。

一昨年の同時期に実施したアンケートでは512通の回答があり、前年度比で回答件数は1割弱の増加となっています。増加の主な要因として

は、日本航空乗員組合とANAウィングス乗員組合、国土交通労働組合からの回答数が増加したことが一因です。また、日本航空からの回答が数年前に比べて増加していることが挙げられます。一方で全日空乗員組合、ANA乗員組合からの回答数は3分の1以下に減少しており、その他の乗員組合からの回答数はほぼ前年並みでした。アンケートの回答数は職場での周知や啓発活動が大きく関係していることから、来期のアンケート時期までどう改善していくかが課題となります。

機種別ではB737が全体の約25%を占めています。またエンブラエル

3月25日に開催される航空安全会議臨時総会で議論される予定です。

沖縄の厳しさは20年前も現在も変わらない

太陽の子

灰谷 健次郎 著



年末から沖縄についているので今月は沖縄に関する本の紹介をしています。若い人にはなじみませんが、若くして亡くなった灰谷健次郎さん。この本は初版から20年以上たつたので今月は沖縄に関する本の紹介をしています。私は時代の発展とともに暮らすには、格好が薄いかも知れないが、なっていくはずだと思っています。しかし、令和の時代になってもそうはなっていない。確かに高級車が街にあふれていますが、格差社会の拡大で正社員になれず、年収100〜200万円台で生活にあえぐ人が拡大し続けています。偉人は「自責任を口にしますがそうでしょうか。」

和の時代になってもそうはなっていない。確かに高級車が街にあふれていますが、格差社会の拡大で正社員になれず、年収100〜200万円台で生活にあえぐ人が拡大し続けています。偉人は「自責任を口にしますがそうでしょうか。」

国の人権もこの本をもう一度読んで反省してもらいたいです。1月20日通常国会が開幕しました。日本では一番偉い人、安倍首相の施政方針演説を聞いた人はいますか？「桜を見る会」疑惑、国会議員が逮捕されたカシノ疑惑、政治と金問題で辞任した大臣問題とは触れず、質問されたら、「はぐらかして答えない、開き直る、徹底して疑惑に蓋して逃げ回っています。」

す。聞いていて本当に腹が立ちました。さて、本の紹介に戻ります。主人公のうちゃんは小学校6年生の女の子、両親は沖縄出身で神戸下町で琉球料理の店を営みます。そして、お父さんが心の病気で苦しむようになります。ふちゃんはお父さんの病気が「沖縄と戦争」にそのカギがあることに気づきます。ふちゃんをとりまく人情味が笑いと苦しみ、悲しみに何回も涙腺をゆるませます。それよりこの小説を読むと書かれた20年前の沖縄と現在の沖縄の様々な厳しい現実が変わっていないことに気づきます。